



2026年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月9日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高宮 満
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務担当 (氏名) 富田 たくみ TEL 03-3486-3331
 半期報告書提出予定日 2026年7月13日 配当支払開始予定日 2026年8月6日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年11月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年12月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期中間期	261,648	3.9	20,020	23.9	21,518	23.3	13,214	△29.7
2025年11月期中間期	251,852	6.3	16,164	△14.4	17,448	△14.1	18,803	50.3

（注）包括利益 2026年11月期中間期 20,774百万円（5.0％） 2025年11月期中間期 19,789百万円（32.0％）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期中間期	95.95	—
2025年11月期中間期	135.27	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期中間期	486,100	350,278	66.9
2025年11月期	480,531	347,600	67.4

（参考）自己資本 2026年11月期中間期 325,315百万円 2025年11月期 324,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2026年11月期	—	32.00	—	—	—
2026年11月期（予想）	—	—	—	33.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2025年11月期の年間配当金額には、キューピー マヨネーズ発売100周年記念配当10円を含んでいます。

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	3.2	38,000	9.7	40,000	7.0	25,500	△16.4	184.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年11月期中間期	141,500,000 株	2025年11月期	141,500,000 株
2026年11月期中間期	5,149,801 株	2025年11月期	2,326,558 株
2026年11月期中間期	137,725,963 株	2025年11月期中間期	139,005,437 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表および主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書および中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの経営環境は、各国の政策動向や中東情勢などの地政学リスクの高まりに加え、為替相場やエネルギー価格の変動など、依然として不安定な状況が続きました。国内では、所得環境の改善は見られたものの、食品価格上昇に伴う消費者の節約志向は根強く、さらに原材料価格高騰の長期化などにより厳しい経営環境が続きました。鶏卵相場については、高病原性鳥インフルエンザの収束に伴い、需給環境に落ち着きが見られたものの、依然高水準で推移しました。

このような環境において、国内では多様化するニーズに対応した高付加価値商品の展開を強化するとともに、原材料価格の高騰などに対応した適切な価格改定の浸透に努めました。海外では、アジアパシフィック・米州での新工場の本格稼働による供給能力強化および生産効率の向上を推進し、基盤強化を着実に進めました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は、国内のタマゴ加工品などの販売数量の堅調な推移や価格改定の浸透に加え、米州での一時的な減収をアジアパシフィックの販売好調が補ったことなどにより増収となりました。営業利益は、米州での一時減収影響や新工場の償却費増加があったものの、国内の増収や高付加価値商品へのシフト、SCMの効率化などにより増益となりました。経常利益は営業利益の増加により増益となりましたが、親会社株主に帰属する中間純利益は前年に計上した資産売却に伴う特別利益の反動により減益となりました。

当中間連結会計期間の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
売上高	251,852	261,648	9,796	3.9%
営業利益	16,164	20,020	3,856	23.9%
経常利益	17,448	21,518	4,070	23.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	18,803	13,214	△5,589	△29.7%

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	94,573	95,620	1,047	1.1%
業務用	89,076	93,838	4,762	5.3%
海外	49,385	53,600	4,215	8.5%
フルーツ ソリューション	8,552	8,808	256	3.0%
ファインケミカル	6,237	6,587	350	5.6%
共通	4,026	3,193	△833	△20.7%
合計	251,852	261,648	9,796	3.9%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	5,737	8,374	2,637	46.0%
業務用	4,422	6,878	2,456	55.5%
海外	7,885	6,885	△1,000	△12.7%
フルーツ ソリューション	279	386	107	38.4%
ファインケミカル	△197	△35	162	—
共通	665	514	△151	△22.7%
全社費用	△2,628	△2,984	△356	—
合計	16,164	20,020	3,856	23.9%

<市販用>

- ・調味料の単価上昇とドレッシングの販売数量の増加、惣菜の高付加価値商品へのシフトにより増収
- ・調味料やカット野菜の価格改定効果、カット野菜の原料価格の安定により増益

<業務用>

- ・調味料やタマゴ商品の価格改定による単価上昇とタマゴ加工品の販売数量増により増収
- ・価格改定効果と高付加価値商品の伸長により増益

<海外>

- ・アジアパシフィックを中心に販売が堅調に推移し増収
- ・米州における前年度の輸出商品の仮需反動などによる売上減少や新工場の償却費増加により減益

<フルーツ ソリューション>

- ・家庭用スプレッドと産業用フルーツ加工品が好調に推移し増収増益

<ファインケミカル>

- ・ヒアルロン酸・酢酸菌サプリメントの通信販売が好調に推移し増収増益

<共通>

- ・機械販売の減少などにより減収減益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,861億円と前連結会計年度末に比べ55億69百万円増加
主に受取手形及び売掛金、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加、現金及び預金の減少による
- ・負債は、1,358億21百万円と前連結会計年度末に比べ28億91百万円増加
主に長期借入金の増加、短期借入金、未払法人税等、流動負債のその他の減少による
- ・純資産は、3,502億78百万円と前連結会計年度末に比べ26億78百万円増加
主に利益剰余金、為替換算調整勘定、非支配株主持分の増加、自己株式の取得による

◇ キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、618億58百万円と前連結会計年度末に比べ39億90百万円減少
各キャッシュ・フローの状況
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益、減価償却費、棚卸資産の増加、未払金の減少、法人税等の支払いなどにより130億28百万円の収入
(前年同期は101億40百万円の収入)
投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより80億86百万円の支出
(前年同期は63億37百万円の支出)
財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出、配当金の支払い、自己株式の取得による支出などにより108億64百万円の支出
(前年同期は61億3百万円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月14日に公表した連結業績および配当予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表および主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当中間連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,598	61,982
受取手形及び売掛金	75,115	77,902
有価証券	15,000	16,000
商品及び製品	25,282	27,161
仕掛品	2,016	1,491
原材料及び貯蔵品	14,964	17,784
その他	6,123	6,936
貸倒引当金	△735	△771
流動資産合計	203,365	208,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	170,414	173,514
減価償却累計額	△104,155	△107,363
建物及び構築物（純額）	66,259	66,150
機械装置及び運搬具	161,197	166,567
減価償却累計額	△120,417	△124,917
機械装置及び運搬具（純額）	40,779	41,649
土地	29,001	28,840
建設仮勘定	5,400	4,848
その他	21,235	21,725
減価償却累計額	△14,721	△15,045
その他（純額）	6,513	6,679
有形固定資産合計	147,954	148,169
無形固定資産		
のれん	73	69
その他	17,598	16,690
無形固定資産合計	17,672	16,760
投資その他の資産		
投資有価証券	55,571	56,311
退職給付に係る資産	46,434	46,850
その他	9,620	9,608
貸倒引当金	△88	△87
投資その他の資産合計	111,538	112,683
固定資産合計	277,166	277,612
資産合計	480,531	486,100

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当中間連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,660	44,255
短期借入金	7,202	238
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	8,247	5,279
引当金	2,062	3,222
その他	32,806	29,398
流動負債合計	104,979	82,395
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	—	15,000
退職給付に係る負債	1,891	1,927
資産除去債務	167	168
その他	25,891	26,330
固定負債合計	27,950	53,426
負債合計	132,930	135,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	20,935	20,960
利益剰余金	245,952	254,713
自己株式	△7,912	△19,775
株主資本合計	283,079	280,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,175	15,244
繰延ヘッジ損益	61	△45
為替換算調整勘定	7,744	12,909
退職給付に係る調整累計額	18,003	17,205
その他の包括利益累計額合計	40,984	45,313
非支配株主持分	23,536	24,963
純資産合計	347,600	350,278
負債純資産合計	480,531	486,100

（2）中間連結損益計算書および中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年12月1日 至 2025年5月31日）	当中間連結会計期間 （自 2025年12月1日 至 2026年5月31日）
売上高	251,852	261,648
売上原価	178,348	182,059
売上総利益	73,503	79,589
販売費及び一般管理費	57,339	59,569
営業利益	16,164	20,020
営業外収益		
受取利息	312	350
受取配当金	343	388
持分法による投資利益	895	841
その他	463	447
営業外収益合計	2,015	2,028
営業外費用		
支払利息	142	244
支払手数料	155	112
その他	432	173
営業外費用合計	730	530
経常利益	17,448	21,518
特別利益		
投資有価証券売却益	4	452
固定資産売却益	12,073	22
その他	344	—
特別利益合計	12,422	474
特別損失		
減損損失	606	302
固定資産除却損	304	170
その他	113	177
特別損失合計	1,023	650
税金等調整前中間純利益	28,848	21,341
法人税等	8,464	6,382
中間純利益	20,383	14,959
非支配株主に帰属する中間純利益	1,580	1,744
親会社株主に帰属する中間純利益	18,803	13,214

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年12月1日 至 2025年5月31日）	当中間連結会計期間 （自 2025年12月1日 至 2026年5月31日）
中間純利益	20,383	14,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△398	25
繰延ヘッジ損益	△20	△107
為替換算調整勘定	666	6,505
退職給付に係る調整額	△647	△789
持分法適用会社に対する持分相当額	△194	180
その他の包括利益合計	△593	5,815
中間包括利益	19,789	20,774
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	18,399	17,543
非支配株主に係る中間包括利益	1,389	3,231

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年12月1日 至 2025年5月31日）	当中間連結会計期間 （自 2025年12月1日 至 2026年5月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	28,848	21,341
減価償却費	9,006	9,543
減損損失	606	302
のれん償却額	1	4
持分法による投資損益（△は益）	△895	△841
引当金の増減額（△は減少）	596	1,076
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△39	66
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△757	△415
受取利息及び受取配当金	△656	△739
支払利息	142	244
固定資産除売却損益（△は益）	△11,765	149
投資有価証券売却損益（△は益）	△1	△452
売上債権の増減額（△は増加）	△3,367	△1,900
棚卸資産の増減額（△は増加）	547	△3,503
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,583	△907
未払金の増減額（△は減少）	△3,695	△2,033
その他	△1,671	△683
小計	15,314	21,250
利息及び配当金の受取額	774	918
利息の支払額	△94	△149
法人税等の支払額	△5,853	△8,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,140	13,028

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,380	△8,887
有形固定資産の売却による収入	10,943	374
無形固定資産の取得による支出	△376	△703
投資有価証券の取得による支出	△548	△866
投資有価証券の売却による収入	10	737
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△250	—
短期貸付金の純増減額（△は増加）	359	57
長期貸付けによる支出	△420	△10
長期貸付金の回収による収入	16	5
定期預金の預入による支出	△7,168	△8,801
定期預金の払戻による収入	68	10,180
その他	△591	△172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,337	△8,086
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	227	△1,568
長期借入れによる収入	—	15,000
長期借入金の返済による支出	△142	△5,500
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△4,309	△4,453
非支配株主への配当金の支払額	△1,417	△1,838
自己株式の取得による支出	△0	△11,884
その他	△460	△618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,103	△10,864
現金及び現金同等物に係る換算差額	406	1,932
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,893	△3,990
現金及び現金同等物の期首残高	80,512	65,849
現金及び現金同等物の中間期末残高	78,618	61,858

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前題に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年7月3日開催の取締役会決議および2026年1月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,825,800株の取得を行い、当中間連結会計期間において自己株式が11,871百万円増加しました。この結果、当中間連結会計期間末において自己株式が19,775百万円となっています。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年12月1日 至 2025年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイ ンケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	94,573	89,076	49,385	8,552	6,237	4,026	251,852	—	251,852
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	94,573	89,076	49,385	8,552	6,237	4,026	251,852	—	251,852
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	413	2,029	—	184	224	6,185	9,036	△9,036	—
計	94,986	91,105	49,385	8,736	6,461	10,212	260,888	△9,036	251,852
セグメント利益 又は損失（△）	5,737	4,422	7,885	279	△197	665	18,793	△2,628	16,164

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△2,628百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間（自 2025年12月1日 至 2026年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	95,620	93,838	53,600	8,808	6,587	3,193	261,648	—	261,648
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	95,620	93,838	53,600	8,808	6,587	3,193	261,648	—	261,648
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	379	2,092	—	116	256	6,778	9,623	△9,623	—
計	96,000	95,930	53,600	8,924	6,844	9,972	271,272	△9,623	261,648
セグメント利益 又は損失（△）	8,374	6,878	6,885	386	△35	514	23,004	△2,984	20,020

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△2,984百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。